

岩戸 町会だより

令和7年第2号
発行
岩戸町会
編集
岩戸町会広報

2026年4月スタート!
自転車ルールが大きく変わります。

通勤・通学・お買い物など、私たちの暮らしに身近な自転車。来年4月からは自転車利用のルールが一段と強化され、違反行為に対して反則金を科す制度が導入される予定です。今回の改正の主なポイントは以下の通りです。

まず、従来、軽車両として「指導・警告」とどまっていた自転車の交通違反に対し、いわゆる「青切符（交通反則通告制度）」が適用されることになりました。対象となるのは16歳以上の利用者で、信号無視・一時停止無視・歩道通行違反・右側通行・無灯火・傘差し運転・スマートフォン操作（「ながらスマホ」）など、日常的に見られる違反行為が挙げられています。

例えば「ながらスマホ」での運転は、6カ月以下の拘禁または10万円以下の罰金、あるいは交通の

危険を生じさせた場合には1年以下の拘禁または30万円以下の罰金となるなど、かなり厳しいもので

す。さらに、反則金の目安として、「携帯電話使用（ながらスマホ）12000円」「信号無視6000円」「無灯火5000円」「傘差し運転5000円」「並走禁止3000円」といった金額が報じられています。



岩戸町会交通安全部では、地域の皆様が“安心して歩ける町”“安心して自転車を利用できる町”をめざして、日頃から町内の見守り巡回や危険箇所の点検、通学・通勤時間帯の安全確認などに取り組んでいます。また、町会の行事や地域イベントでは、来場者の誘導や交通整理、周辺道路の安全確保に従事し、事故防止のための重要な役割を担っています。

こうした活動に加え、来春の道路交通法改正を踏まえ、町会主催で「交通安全セミナー」の開催も予定しています。調布警察署と連携し、自転車の安全利用や違反防止について専門スタッフから学べる機会を設けます。改正前のこのタイミングに、ぜひ多くの皆さんにご参加いただき、一緒に地域の交通安全意識を高めていければと思います。



いわどハロウイン仮装まつり

11月3日、「いわどハロウイン仮装まつり」が5年ぶりに開催されました。コロナ禍を経てようやく再開できたこともあり、当日は岩戸地域センターにたくさんの方たちやご家族が集まり、大変にぎやかなイベントとなりました。

今回は、従来の“町内を巡るスタイル”から企画を一新し、岩

本年度も、都や市の助成金を活用し新たに南3丁目地域と北4丁目地域の2箇所に防犯カメラを増設し、地域の見守りを拡充しました。あわせて、保証期限を迎えていた既存の3台についても更新作業を行い、より鮮明で信頼性の高い映像が得られるようになります。



防犯力メラ増設

岩戸町会だより

戸地域センター 3階の町会会議室に、大きなハロウインポスターを複数設置した撮影ブースを用意。カボチャやゴースト、ネオンサイレン調の鮮やかな背景の前で、子どもたちは自慢の仮装姿で楽しそうにポーズを決め、「ご家族がスマートフォンで撮影する姿があちこちで見られました。写真映えする空間づくりはとても好評で、「思い出に残る一枚が撮れた」と喜びの声をいただきました。また 1階の消防倉庫前では、消防部とのコラボレーション企画を実施。ハロウイン仕様に仮装した消防隊員との撮影や、新型消防車への乗車体験、ホースやライトの操作体験など、子どもたちの興味を引くプログラマムが盛り込まれ、終始笑顔があふれるブースとなりました。消防車の赤い車体をバックにした記念撮影は、さらになりました。



戸地域センター 3階の町会会議室に、大きなハロウインポスターを複数設置した撮影ブースを用意。カボチャやゴースト、ネオンサイン調の鮮やかな背景の前で、子どもたちは自慢の仮装姿で楽しそうにポーズを決め、「家族がスマートフォンで撮影する姿があちこちで見られました。写真映えする空間づくりはとても好評で、「思い出に残る一枚が撮れた」と喜びの声をいただきました。また 1 階の消防倉庫前では、消防部とのコラボレーション企画を実施。ハロウイン仕様に仮装した消防隊員との撮影や、新型消防車への乗車体験、ホースやライトの操作体験など、子どもたちの興味を引くプログラムが盛り込まれ、終始笑顔があるれるブースとなりました。消防車の赤い車体をバックにした記念撮

第一中地区 第36回スポレク大会

第一中地区 第36回スポレク大会

環境文化部

ました。
今後も、地域の子どもたちが安
心して楽しめるイベントを企画し
てまいります。ご参加くださいた
皆さま、ご協力いただいた皆さま
に心より感謝申し上げます。

久しぶりの開催にも関わらず、町会会員の皆さん、入会予定のご家族の方など、多くの地域住民にご参加いただき、地域のつながり



が幹事を担当。土曜日開催で状況が心配されましたが、今は幅広い世代の地域住民が集和やかな雰囲気に包まれながらを楽しみました。

本大会は、岩戸町会・駒井町猪方町会・銀行町親和会の4が、二中地区地域スポーツ大行委員会として輪番で幹事をする伝統行事で、幹事以外の町サポート役として運営に協力います。競技はパンポン、グドボーリング、バードゴルフ、ニバツティング、ティーボール投げ、マジックダーツ、ボッセ体力測定など、多彩な種目を子どもから大人まで世代を問楽しめる内容で、各競技に挑む姿には笑顔があふれています締めくくりは、地域ごとに競白玉入れとパン掴み競争。歓声が飛び交い、参加者同士が自然と声を掛け合うなど、温かな交流が広がりました。



弔慰金・出産祝い金の申請について

弔慰金・出産祝い金の申請について

今年の参加者は合計267名（未成年64名、成人104名、関係者99名）。

菜を嬉しそうに持ち帰る姿が印象的でした。

A photograph showing a group of people at an outdoor market stall. Several large plastic crates filled with fresh vegetables, including leafy greens and radishes, are on display. People are standing around, looking at the produce and interacting with each other. The setting appears to be a community event or a regular market day.

事由発生から6カ月以内に申請
が町会事務所に届くように、各班
長もしくは、理事まで提出を、お
願いします。また、岩戸町会会員
と同一世帯の人が対象となります。
毎週日曜日13..00~16..00が開
所日となります。

尚12月28日は、年末のため閉所
となります。年明けの開所は、1
月11日となります。

岩戸町会だより

岩戸おもちゃや病院オープン



11月9日（日）、岩戸地域センター3階・町会大會議室で「岩戸おもちゃや病院」が開院しました。壊れたおもちゃを持つ親子が集まり、修理体験を通して“物を大切にする心”を学ぶ温かなイベントとなりました。

『思い出をもう一度動かす日』

「おもちゃや病院」とは、壊れてしまつたおもちゃを“おもちゃやドクター”が診断し、もう一度遊べるように修理してくれる“おもちゃの病院”です。使い捨てが当たり前になりつつある現代ですが、「おばあちゃんに買ってもらつた大切なおもちゃを直したい」「小さなころから遊んできた思い出のおもちゃを何とか復活させたい」



今回のおもちゃ病院は、壊れたものを直す喜びを分かち合うとともに、おもちゃをきっかけに地域の交流が生まれる、心温まるイベントとなりました。

ご参加いただいた皆さま、そしてご協力いただいたおもちゃやドクターの皆さんに心より感謝申し上げます。

総務部

岩戸町会は12月28～30日

歳末特別警戒を実施します。

年末年始は、

現金を狙つたひつ

たくりや空き巣

などの侵入犯罪、

特殊詐欺の被害

が多発すること

が予想されます。

また生活の繁忙

期に加え季節柄



壊れた部分を直す工程を楽しむ姿が見られました。会場は終始、笑顔と温かな雰囲気に包まれていました。参加した保護者からは「また遊べるようになつて本当に嬉しい」「物を大切にする気持ちを子どもが学べた」といった声が寄せられました。

火器を使用する機会が多くなり、火災発生の危険性が増大します。岩戸町会管内では、柏江市防犯協会岩戸支部・防犯部、防災部、柏江市消防団第5分団・消防部が警戒を実施します。

**町会デジタル化の取り組みと、
町会ホームページ開設
公式LINE登録のお願い**

昨年度より、岩戸町会では「デジタルとアナログを融合した町会づくり」を目標に掲げ、情報発信の強化に向けた取り組みを進めてきました。コロナ禍を経てスマートフォンが幅広い年代に浸透し、日々の暮らしの中でデジタル情報に触れる機会が増えたことを背景に、町会としてもよりスマートでわかりやすい情報提供を目指しています。

その取り組みの一環として、今年6月には町会公式LINEアカウントを開設、さらに12月には町会ホームページ (www.iwadochoukai.jp) を公開しました。町会ニュース、イベント案内、防災情報などを、従来の紙媒体に加えてデジタルで

岩戸町会だより

も発信することで、より多くの方に迅速に情報を届けられる体制が整いつつあります。

現在、公式LINEアカウントには約600世帯が登録しており、登録者からは「携帯で町会情報を確認できて便利」「掲示板はあまり見ない、近くにないので助かる」「木下大サーカスの無料チケットの情報を知つて、孫と行つてきました」など、喜びの声を多くいただいています。地域のちょっとした情報や、子ども向けイベント、防災・防犯情報など、生活に役立つ内容をタイムリーに受け取れる点が高く評価されています。

しかし、岩戸町会は約3000世帯が加入する大きな組織であり、現在の登録率はまだ2割程度にとどまっています。町会としては、より多くの皆さんに登録していただきたいことで、情報共有のスピードを高め、町会活動をより身近で参加しやすいものにしたいと考えています。



町会ホームページQR

だいています。地域のちょっとした情報や、子ども向けイベント、防災・防犯情報など、生活に役立つ内容をタイムリーに受け取れる点が高く評価されています。

だいたいです。木下大サーカスの無料チケットの情報を知つて、孫と行つてきました」というお話を印象的でした。

悪質商法にだまされないために

11月23日（日祝）、岩戸地域センターにて「悪質商法撃退」をテーマにした防犯セミナーを開催し、

約30名の町内の皆さんにご参加いただきました。近年は「振り込め詐欺」という言葉に代わり「特殊詐欺」と呼ばれる手口が多様化・巧妙化しています。高齢者をねらった還付金詐欺や投資詐欺、訪問販売や電話勧誘による悪質商法など、全国では年間約700億円を超える被害が出ていると言われています。一度お金をだまし取られてしまうと、弁護士が入っても回収できないケースが多く、「被害に遭わないこと」が最大の防御である、

からも皆さんとともに、より安心で住みよい地域づくりを進めてまいります。

今後も紙媒体（町会だより・町会ニュース・掲示板）とデジタル発信（LINE・ホームページ）を併用しながら、誰もが取りこぼされることなく情報を受け取れる体制を整えていきます。ぜひこの機会に、町会公式LINEのご登録をお願いいたします。岩戸町会は、これからも皆さんとともに、より安心で住みよい地域づくりを進めてまいります。



や被害の多いケースについて解説していただきました。つづいて、

「防犯部

の方は、柏江市役所内の消費生活センターに相談ができます（市役所代表電話から相談窓口につながります）。また、全国共通の消費者ホットライン「188(いやや!)」に電話をすると、お住まいの地域の消費生活センターを案内してもらえます。

もし「おかしいな」「自分だけでは判断できない」と感じたら、ひとりで抱え込まず、まずは家族やご近所に相談し、あわせて消費生活センターに早めに連絡することが大切です。柏江市にお住まいの方は、柏江市役所内の消費生活センターで相談ができます（市役所代表電話から相談窓口につながります）。

